# TOSO

インテリアブラインド

## ニューセラミー15･25 浴窓（よくそう）テンションタイプ

取扱説明書 No.I－110019

# 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
**安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。**

**販売店様･施工業者様へのお願い**

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明･注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

## 目　次




**トーソー株式会社** ◎お客様相談室 **tel.03-3552-1002**
ホームページアドレス http://www.toso.co.jp
本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9

※この取扱説明書は再生紙を使用しています。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

● 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。 |
| ⚠ 注意 | 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害･損害の程度を示しています。 |

● 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

⃠ 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。

❗ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

### ■ 取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）

#### ⚠ 警告

⃠ 凹凸のある壁紙、布壁、土壁、砂壁やベニヤなどのザラつきのある壁面には取付けられません。

❗ 下地のある場所に取付けてください。下地がない場所に取付けると、取付け面の歪みなどよりテンションが充分にかからず、製品が落下する恐れがあります。また、中空構造のユニットバスなどに取付けると、強いテンションがかかるために取付け面の樹脂サッシなどが破損する場合があります。

#### ⚠ 注意

⃠ 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。

❗ 製品は、水平に取付けてください。

❗ 必ずカタログ記載の製品サイズ以内で、ご使用ください。

⃠ サウナやサンルームなど、高温多湿となる場所では使用できません。



### ■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

#### ⚠ 警告

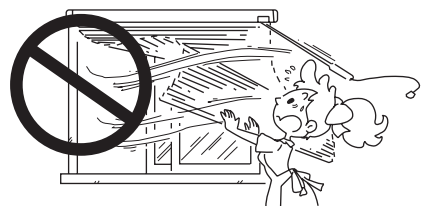
⃠ コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

日本ブラインド工業会

⃠ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

⃠ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあ
ります。

#### ⚠ 注意

⃠ 強風の時は、必ず窓を閉めるかスラットをたたみ上げた状態にしてください。

⃠ メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。

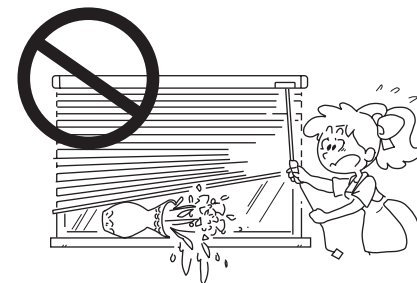
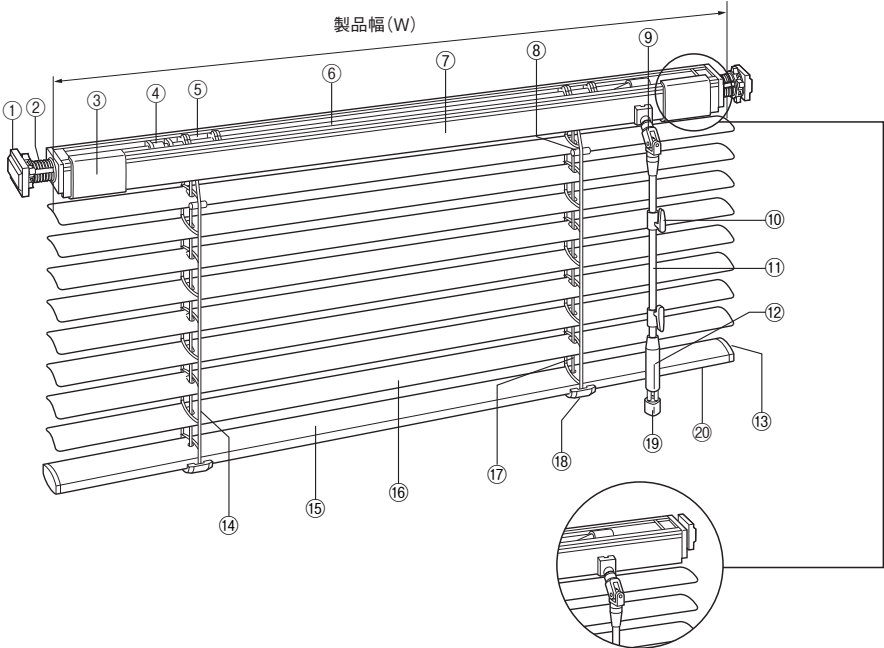
⃠ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

⃠ 必ず操作コードを持って操作を行ってください。スラットやボトムレールを持って操作を行わないでください。

⃠ 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。

## 製品全体図及び部品名称

製品幅（W）

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

※ 製品幅470mm以下の場合、操作側はダイヤルのないブラケットとなります。

### 部品名

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 突き当てプレート | ⑥ シャフト | ⑪ マルチポール（操作棒） | ⑯ スラット（はね） |
| ② テンションブラケット | ⑦ ヘッドボックス | ⑫ グリップ | ⑰ 昇降コード |
| ③ ブラケットカバー | ⑧ スラットクリップ | ⑬ ボトムキャップ | ⑱ ボトムカバー |
| ④ クリック | ⑨ ユニバーサルジョイント | ⑭ ラダーコード | ⑲ コードタッセル |
| ⑤ チルター | ⑩ コードフック | ⑮ ボトムレール | ⑳ メンテナンスシール |

### ■ 付属部品

| 部 品 名 | プレートキャップ | プレートキャップ用 両面テープ（予備） |
|---|---|---|
| 入 数 | 2個 | 1枚 |

### ■ 製品重量（幅１０００mm　高さ１０００mmの場合）

| ニューセラミー15 浴窓テンションタイプ | ニューセラミー25 浴窓テンションタイプ |
|---|---|
| 1.7 kg | 1.5 kg |



## 製品の取付け/取外し方法

### ⚠ 注意

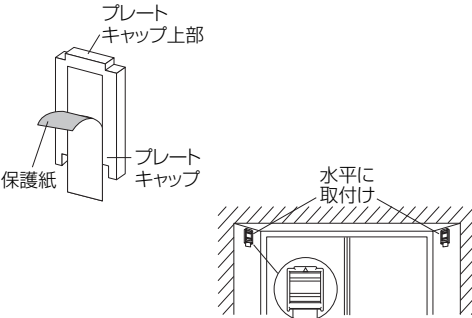
- 取付ける前に、壁面の汚れ、油分、水滴などをふきとって湿気のない状態にしてください。汚れや水分などが残っていると両面テープの粘着力が低下し、製品が落下する恐れがあります。
- タイルに取付ける際は、プレートキャップがタイルの目地にかからないように取付けてください。プレートキャップが目地にかかると、両面テープがはがれ、製品が落下する恐れがあります。
- プレートキャップは必ず左右が水平になるように取付けてください。製品が傾いたままで取付けると落下する恐れがあります。

### ■ 本体の取付け方法

❶ 取付け面の汚れ、油分、水滴などをきれいにふきとって湿気のない状態にしてください。

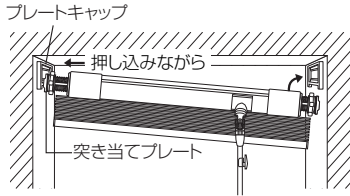
❷ プレートキャップに付いている両面テープの保護紙をはがし、△印を上にして左右が水平になるように壁面両側に貼り付けてください。

※ 両面テープ端部の透明シールは絶対にはがさないでください。取外しの際、必要になります。

※ 両面テープを貼り間違えた場合は、予備の両面テープをご使用ください。



### ⚠ 注意

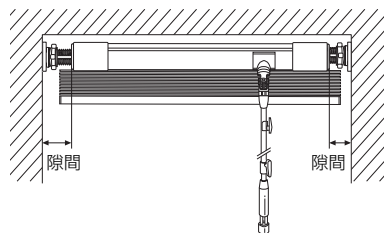
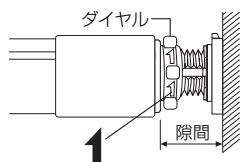
- 取付け面にプレートキャップ全面を強く押し付け（5秒以上）、しっかり貼り付けてください。

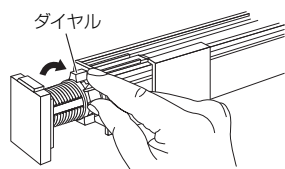
❸ 操作側と反対方向の突き当てプレートをプレートキャップに押し込みながら、操作側の突き当てプレートをはめ込み仮止めにしてください。



### ⚠ 注意

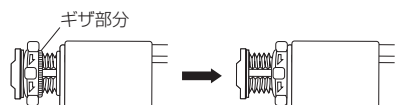
- 製品本体を持ちながら、作業してください。
- 仮止め中はブラインドを操作するなど、製品に大きな力がかからないようにしてください。落下する恐れがあります。

❹ 操作側のダイヤルを矢印の方向へ回し、左右の隙間が均等になるように調整してください。

※ 製品幅470mm以下の場合は、ダイヤルのないブラケットになりますので、調整は不要です。

ダイヤル
隙間
隙間　隙間

❺ 操作側と反対方向のダイヤルを矢印の方向へ固くなるまで回し、製品を確実に固定してください。

ダイヤル

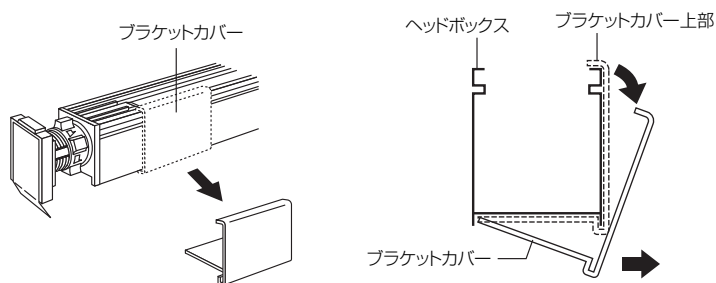
下図のようにダイヤル根元のギザ部分が見えなくなるまで回してください。

ギザ部分

❻ テンションブラケット部にブラケットカバーをかぶせてください。

※ 両面テープ端部の透明シールは絶対にはがさないでください。取外しの際、必要になります。

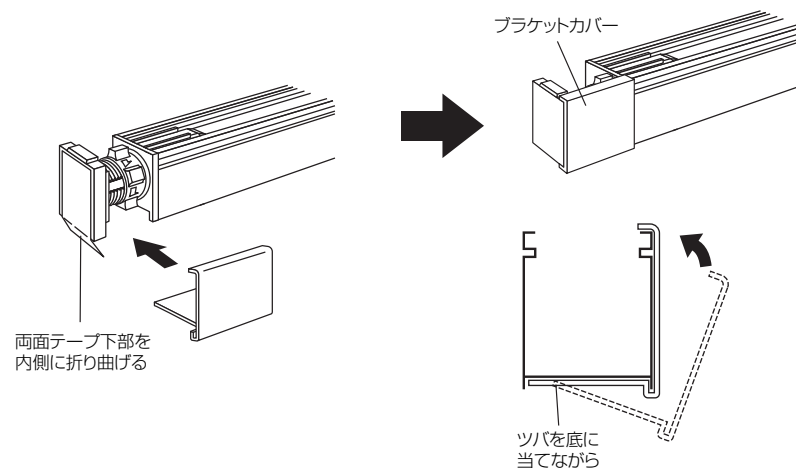
※ 両面テープのプレートキャップから出ている部分は切り取ったりせず、ブラケットカバー内に納めてください。取外しの際、必要になります。

① ブラケットカバー上部を手前に引いてヘッドボックスから外してください。

ブラケットカバー
ヘッドボックス
ブラケットカバー上部
ブラケットカバー



② 両面テープを本体側に折り曲げてプレートキャップとテンションブラケットが隠れるようにブラケットカバーをヘッドボックスに取付けてください。

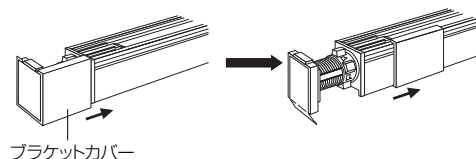
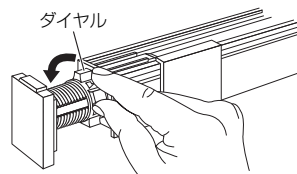
※ブラケットカバーはツバの部分をヘッドボックス底面に当てながら、上部を押し付けて取付けてください。

ブラケットカバー
両面テープ下部を内側に折り曲げる
ツバを底に当てながら

## ⚠ 注意

❗ 製品本体取付け後、突き当てプレートがプレートキャップに確実に止まっていること、ダイヤルが確実に締まっていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下する恐れがあります。

■本体の取外し方法

❶ブラケットカバーを内側へスライドさせてください。

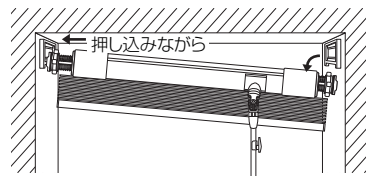
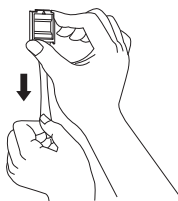
ブラケットカバー

❷スラットをたたみ上げてください。

ダイヤル

❸左右のダイヤルを矢印の向きと反対方向に回してゆるめてください。

**注意**

- ダイヤルをゆるめる際は、必ず片手で製品をささえてください。
- ダイヤルをゆるめる際はブラインドを操作したりなど、製品に大きな力がかからないようにしてください。落下する恐れがあります。

❹操作側と反対方向へ製品を押し付けながら、操作側のプレートキャップから突き当てプレートを外してください。

押し込みながら

❺プレートキャップを手で押さえながら両面テープを真下に引いてはがしてください。（30cmくらい伸びます。）

**注意**

- 手で押さえずに引っ張るとプレートキャップが飛んで思わぬケガをする恐れがあります。
- はがした両面テープの再使用はしないでください。
- プレートキャップを外す際、出ている両面テープを真下に引いてください。
  両面テープを真下以外の方向に引くと、取付け面を傷めたり、テープがちぎれてしまう場合があります。
- 少しずつゆっくりと引いてください。急激に両面テープを引くと、取付け面を傷めたり、テープがちぎれてしまう場合があります。
- 壁紙の種類によっては両面テープをはがす際に壁紙がはがれる場合がありますので、ご注意ください。



## 操作方法

**注意**

- 上げ、下げする際はスラット（はね）を水平にした状態でおこなってください。
  スラット（はね）を閉じた状態での上げ下げは、故障の原因となります。
- スラット（はね）を無理に閉じようとしないでください。
  無理な操作はギアなどの部品を破損する原因となります。

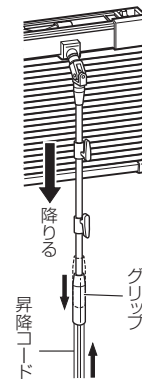
■ブラインドの降ろし方

❶スラット（はね）を水平にして、グリップを真下に引くと降ります。

※必ず昇降コードを持ちながら、グリップを引いてください。

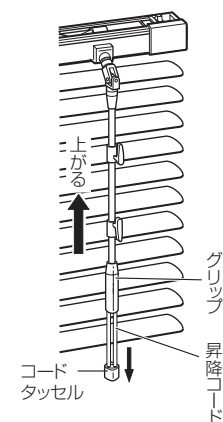
※グリップの引き加減により、ブラインドの降りるスピードが変わります。途中で止まったり、斜めになっても故障ではありません。いったん上げてから再度降ろし直してください。

❷グリップから手を離すとその位置で止まります。

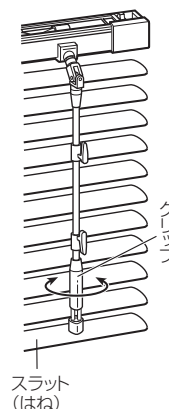
降りる
昇降コード
グリップ

■ブラインドの上げ方

❶スラット（はね）を水平にして昇降コードを真下に引くと上がります。

❷昇降コードから手を離すとその位置で止まります。

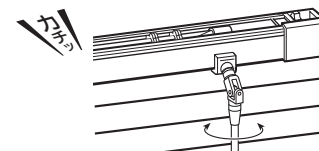
上がる
グリップ
コードタッセル
昇降コード

■スラット（はね）の角度調節

●グリップを回して調節してください。

グリップ
スラット（はね）

■クリック機構

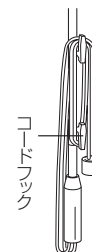
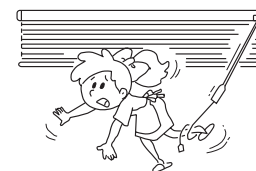
●スラット（はね）が閉じきった時点でクリック機構が働き、「カチッ」と音がしてスラット（はね）が戻るのを防止します。（表面、裏面とも作動します。）

※製品幅が470mm以下の場合は、クリック機構は付きません。

カチッ

■コードフックの利用方法

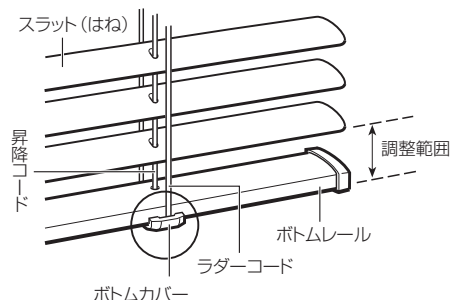
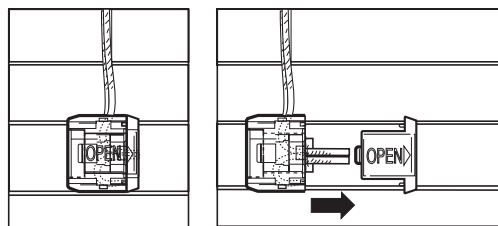
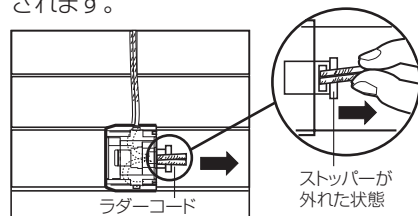
●ブラインドを上げた時に、昇降コードはコードフックにかけてください。

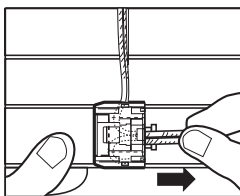
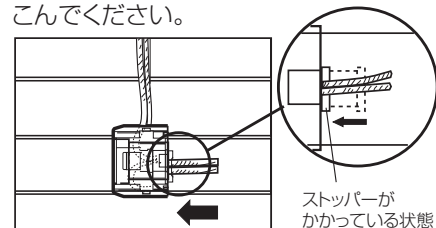
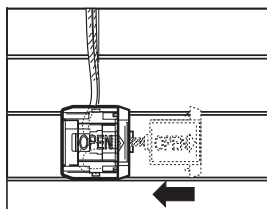
コードフック

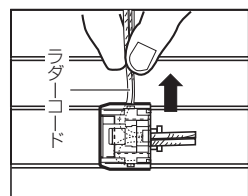
**注意**

- 出したままのコードは手、足のひっかかり等で思わぬ事故の原因となりますので必ずコードフックにかけるようにしてください。

## 高さ調整方法

●ブラインドを全て降ろした際、ボトムレールが窓枠等にぶつかる場合、ブラインドの高さを一番下のスラット（はね）の高さまで短くできます。

●高さ調整はボトムカバー部で行います。

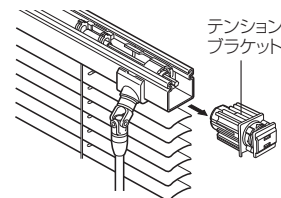
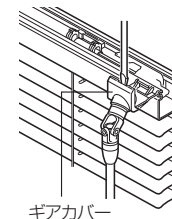
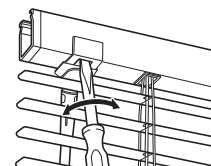
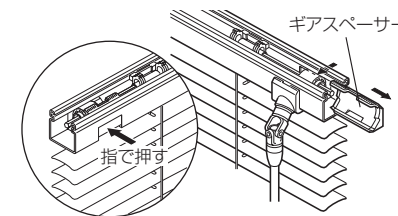
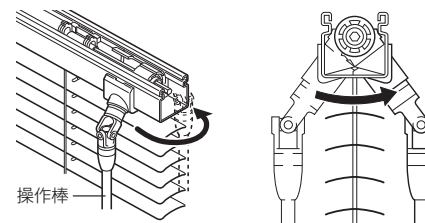
※昇降コードがついているボトムカバーを全て同様に調整してください。
昇降コードの付いていないボトムカバーは、高さ調整機構のないボトムカバーです。

❶ボトムカバー面のOPEN▶印を押しながら、→の方向へスライドさせてください。

❷ラダーコードを引っぱるとストッパーが解除されます。

❸ラダーコードを調整したい長さだけ引き出してください。

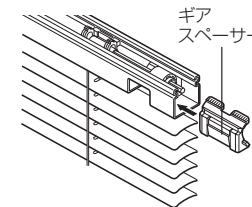
※ラダーコードの約1ピッチ分を短くできます。元の高さに戻すことも可能です。（長くすることはできません。）

❹「カチッ」と音がするまでストッパーを押しこんでください。

❺ボトムカバーを元の位置（OPEN▶と逆方向）へ戻してください。

〈元の高さに戻す方法〉

●ストッパーを解除した状態で、ラダーコードを引っぱり出してください。



## 操作位置の変更方法

●以下の手順で、左操作を右操作に、右操作を左操作に操作位置を変更することができます。

❶テンションブラケットを外してください。

❷ギアカバー上部の隙間にドライバーを入れて、手前に引いてギアカバー前面を外してください。

❸ヘッドボックス底部のギアカバーの切り込みにドライバーを差し込み、回してギアカバー全体を外してください。

❹ギアスペーサーの裏を押し、上部を指でスライドさせてヘッドボックスの端から抜き取ってください。

❺スラット（はね）の折れに注意しながら、マルチポール（操作棒）を後ろ側に回してください。

❻逆（❹→❸→❷→❶）の手順で、再セットしてください。

### ⚠ 注意

❗ 切換作業の際、ヘッドボックスの端部や切込み口、スラット（はね）などでケガをしないよう充分注意してください。

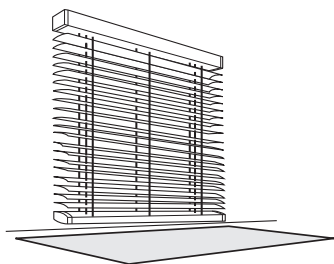
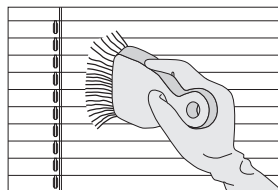
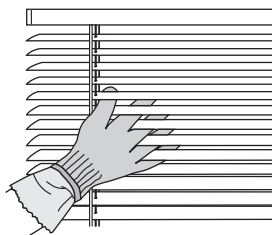
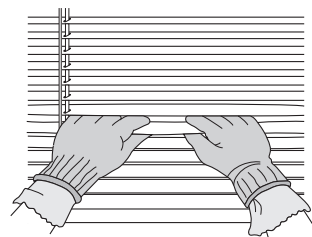
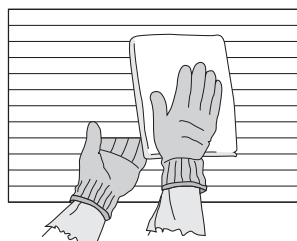
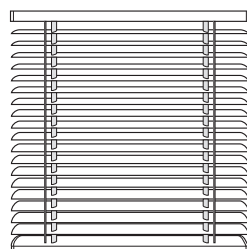
## ブラインドのお手入れ方法

### ⚠ 注意

- 洗剤ご使用の場合は台所用合成洗剤を薄めてお使いいただき、その後必ず水ぶきしてください。その他の洗剤やシンナーなどは使用しないでください。
- スラット（はね）の端面は危険ですので、お手入れの際は、軍手等をつけケガをしないように充分ご注意ください。
- 日頃から羽根ばたきや化学モップ等でこまめにお手入れしてください。長期間油気が付着すると、塗装が剥離することがありますのでご注意ください。

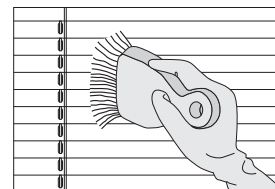
### 〈本体を取付けたままでお手入れする場合〉

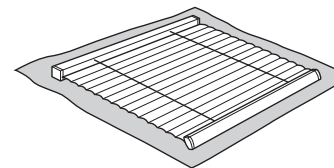
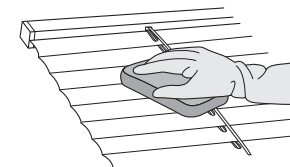
**用意するもの** ●ビニールシート ●小型ホウキまたはハンディモップ ●ゴム手袋 ●軍手 ●バケツ ●台所用合成洗剤（中性） ●ぞうきん

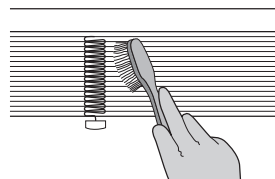
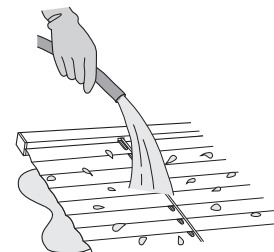
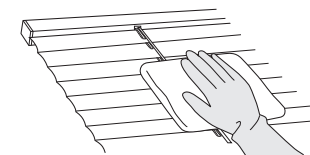
❶ホコリや液だれにそなえて、ブラインドの下にシートを敷きます。

❷ハネやコードのホコリをざっと払います。小型ホウキかハンディモップを使います。

❸ゴム手袋の上に軍手を重ねてはめます。バケツに用意した洗剤溶液に浸して、はねを数枚ずつ指で挟み、左右にすべらせながら表面と裏面の汚れを拭いていきます。

❹汚れの目立つ部分は１枚ずつ拭いてください。

❺はね幅の狭いブラインドは、はねの裏面に手を当てて洗剤溶液を含ませたぞうきんで拭いてください。

❻最後に全体を水ぶきしたあと、ブラインドを降ろした状態で自然乾燥させます。



### 〈本体を取外してお手入れする場合〉

**用意するもの** ●小型ホウキまたはハンディモップ ●ビニールシート ●ゴム手袋 ●バケツ ●台所用合成洗剤（中性） ●ぞうきん ●スポンジ ●歯ブラシ

❶取り外す前に、小型ホウキ・ハンディモップ等で全体のホコリを払います。

❷平らな場所に敷いたシート等にブラインドを広げ、全体を水でぬらします。

※ヘッドボックスに水が入らないよう注意してください。

❸はねが重ならないように広げ、洗剤溶液に浸したスポンジこすり洗いします。

❹ブラインドを引き上げた状態にし、まとまったラダーコードと昇降コードの汚れを洗剤と歯ブラシを使ってこすります。

※歯ブラシがはねに触れないようにご注意ください。

❺全体を水洗いします。水量・水圧は強くなりすぎないよう注意してください。

❻乾いた布で全体の水気をふきとった後、はねを開けた状態で風通しの良い場所に吊し、乾かします。

## メンテナンスシール

● お買い上げの製品には、ボトムレール底面に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。（スラット幅 15mm の機種は、ヘッドボックス底面に貼付しております。）

ヘッドボックス

スラット（はね）

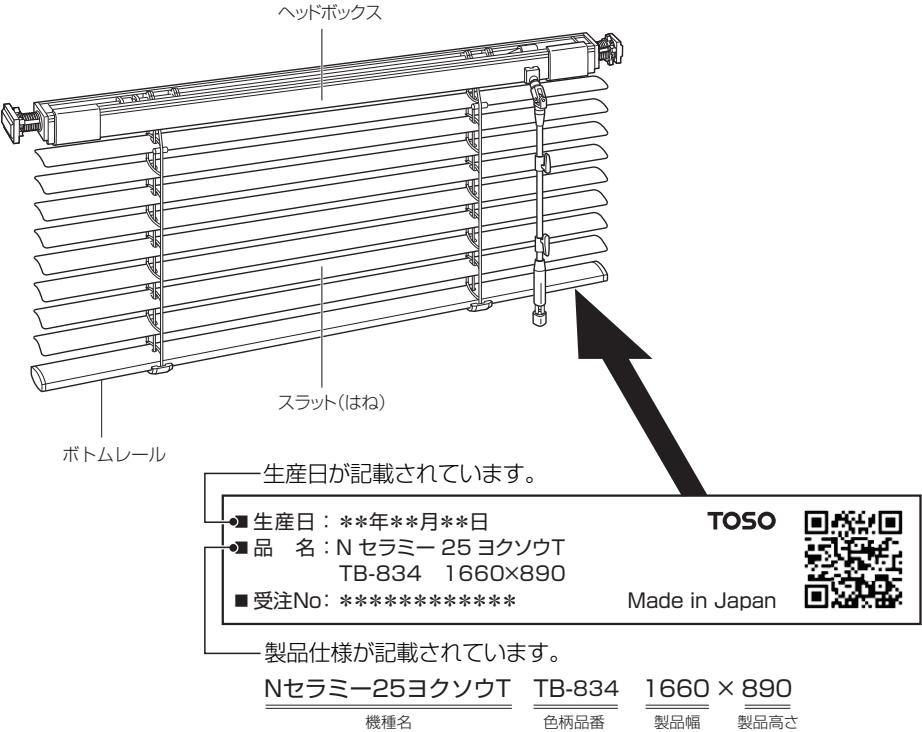
ボトムレール

生産日が記載されています。

■ 生産日：＊＊年＊＊月＊＊日　　TOSO
■ 品　名：N セラミー 25 ヨクソウT
TB-834　1660×890
■ 受注No：＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　　Made in Japan

製品仕様が記載されています。

Nセラミー25ヨクソウT　TB-834　1660 × 890

機種名　色柄品番　製品幅　製品高さ

● メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。

※ シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

## 梱包剤の処理方法

● 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。

● 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。



● お問合せは、お買い上げの販売店または下記事業所へお申しつけください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 札 幌 支 店 | tel.011-841-3731 | fax.011-841-9926 | 〒003-0012 | 札幌市白石区中央2条3丁目3-10 |
| 盛岡営業所 | tel.019-645-5271 | fax.019-645-5275 | 〒020-0134 | 盛岡市南青山町4-8 |
| 仙 台 支 店 | tel.022-288-8415 | fax.022-287-3110 | 〒984-0012 | 仙台市若林区六丁の目中町31-35 |
| 新潟営業所 | tel.025-267-1241 | fax.025-231-0506 | 〒951-8154 | 新潟市掘割町3-4 川崎ビル1F |
| 宇都宮営業所 | tel.028-610-7891 | fax.028-610-7892 | 〒320-0847 | 宇都宮市滝谷町20-20 SSビル1F |
| つくば営業所 | tel.0297-52-1551 | fax.0297-52-1552 | 〒300-2494 | 茨城県つくばみらい市小絹551 |
| さいたま支店 | tel.048-657-9221 | fax.048-657-9191 | 〒330-0810 | さいたま市大宮区土手町1丁目2 JA共済埼玉ビル2F |
| 東 京 支 店 | tel.03-3552-2961 | fax.03-3552-4460 | 〒104-0033 | 東京都中央区新川1丁目14-5 金盃第三ビル4F |
| 東京西営業所 | tel.03-5358-3391 | fax.03-5358-3392 | 〒151-0073 | 渋谷区笹塚3-2-15 第Ⅱベルプラザ1F |
| 多摩営業所 | tel.042-525-0431 | fax.042-525-0433 | 〒190-0013 | 立川市富士見町1丁目21-18 クラン岩崎1F |
| 千葉営業所 | tel.043-245-6801 | fax.043-245-6805 | 〒260-0027 | 千葉市中央区新田町10-15 誠寿ビル1F |
| 横 浜 支 店 | tel.045-473-2700 | fax.045-473-9660 | 〒222-0033 | 横浜市港北区新横浜2-17-2 フォンターナ新横浜4F |
| 静岡営業所 | tel.054-283-5011 | fax.054-283-5120 | 〒422-8043 | 静岡市中田本町60-7 |
| 長野営業所 | tel.026-225-5901 | fax.026-225-5902 | 〒380-0928 | 長野市若里1丁目21-24 八州若里第二ビル1F |
| 名古屋支店 | tel.052-858-2420 | fax.052-858-2461 | 〒466-0033 | 名古屋市昭和区台町1丁目23 |
| 金沢営業所 | tel.076-240-2300 | fax.076-240-3791 | 〒920-0364 | 金沢市松島2丁目209 |
| 京都営業所 | tel.075-344-9611 | fax.075-344-7664 | 〒600-8108 | 京都市下京区五条通新町西入る西錺屋町18 トミタビル4F |
| 大 阪 支 店 | tel.06-6260-0821 | fax.06-6260-0822 | 〒541-0053 | 大阪市中央区本町4-1-7 第二有楽ビル6F |
| 神戸営業所 | tel.078-382-0173 | fax.078-382-0190 | 〒650-0025 | 神戸市中央区相生町4丁目4-14 グランダーブル2F |
| 岡山営業所 | tel.086-244-2222 | fax.086-244-1612 | 〒700-0971 | 岡山市野田3丁目23-7 |
| 広 島 支 店 | tel.082-232-0439 | fax.082-232-0432 | 〒733-0037 | 広島市西区西観音町9-7 なかよしビル1F |
| 高松営業所 | tel.087-868-0434 | fax.087-868-0491 | 〒760-0079 | 高松市松縄町50-13 |
| 福 岡 支 店 | tel.092-947-2661 | fax.092-947-2706 | 〒811-2414 | 福岡県粕屋郡篠栗町和田805-2 |
| 鹿児島営業所 | tel.099-259-2911 | fax.099-259-2855 | 〒890-0052 | 鹿児島市上之園町25-1 KBC中央ビル1F |

◎**お客様相談室　tel.03-3552-1002**